

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

動労「本部」反動分子追放・一掃 10・11三里塚総決起

で不当処分を粉碎しよう

日刊 動労千葉

81.9.12
No844

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）公衆（電）二七二〇七

6名の仲間の不当処分に対する怒りにもえた抗議と闘い決意

当局・「本部」反動分子一体となった
デタラメな不当処分を断固粉碎する
（津田沼支部書記長） 重見敏夫

雨の中、各支部から結集されました組合員の皆さん大変ご苦労様です。そして我々6名を十七日間にわたって連日の激励行動に、物心両面にわたる御支援をいただいたことにこの場をお借りしてあらためてお礼を申し上げたいと思います。
本日、当局は、あろうことか、三名に休職、残り三名に停職という、こういう不当な処分をかけてきました



た。我々は直ちに津田沼の現場当局に抗議したところ、現場の区長は何らこれに答えることもできず、ただ上から決まってきたことで私にはわからない、と、こういったデタラメなやり方で処分を出してきている訳です。こんなことが皆さん許されるでしょうか！国鉄当局と動労「本部」反動分子のまさに一体化したこんな不当な攻撃に対して、全力をもちてうちくदैいていかねばなりません。私はその事を固く決意して決意表明いたします。

「本部」反動分子粉碎・三里塚二期工事阻止の闘いの爆発で処分を粉碎しよう
（津田沼支部青年部長） 吉岡一

今回の不当処分の中に、私たちは何を見なければいけないのか。私達は、今、日本において動労「本部」革マルという真正正銘のファシスト・現代のナチスという、こういうファシスト的な労働運動が公然と登場してきたんだという事について戦いつしななければならぬと思います。かつて一九三〇年代にドイツにおいてナチスIIヒトラーが現われ、そして闘う労働者・労働組合を反動的な暴力で叩きつぶし、あの悲惨な戦

動労千葉破壊のための不当処分攻撃に最先頭で闘いぬく
（津田沼支部乗務員会長） 深見四郎

今、全国の労働組合、そして全国の職場で様々な攻撃がかけられています。司法反動化の進む中で、私たちにかけられた攻撃はすさまじいものがあると思います。その中で、警察・検察当局ですら、私たち三名には起訴処分もできなかった。しかしながら国鉄当局は本日、不起訴になった三名に対してすら停職一ヶ月という不当処分をかけてきたのです。私たちは、組織破壊のための処分攻撃を断固はねのけて最後まで闘いぬいていきたいと思えます。以上、私の決意といたします。



9月8日、当局は3名休職(片岡・吉岡・篠塚)、3名停職(重見・深見・水倉)の全く不当な処分をかけた。直ちに夕刻雨をつき怒りの局前抗議集会がかけられ、

全組・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！